

丹波市議会だより たんばりんぐ

令和7年

7

No.82

TAMBA CITY

6月 9月

3月 12月

定例会は
年4回



議員とあなたの 意見交換会

R7.5.12 - 5.16



CONTENTS

P2 議員とあなたの
意見交換会

P 6 ミライプロジェクト

P 9 ギロンの論点

P10 ココが聞きたい！
一般質問

P16 議案の審議結果

P17 政務活動費



たんばりんぐ

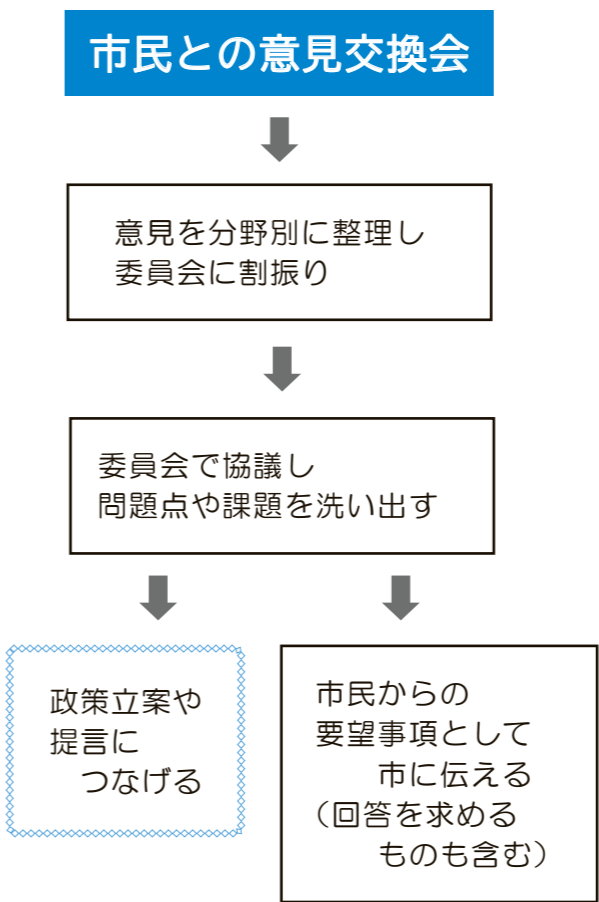


意見交換会を開催!

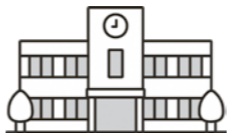


令和7年5月12日(月)～16日(金)、丹波市内7会場で71名の方にご参加いただき、意見交換をしました。参加された方の年代別では60歳代41%、70歳以上が42%と、60歳以上が約8割を占めました。また、初めて参加された方は全体の36%でした。

みなさんの「声」を市への提案へつなげるプロセス



地域づくり・教育



1 デマンドタクシーの利便性向上に期待

デマンドタクシーは、旧町域を越えて使えないので不便。さらに、大型商業施設・病院・公的機関が立地する地域とそうでない地域とで不公平感が高まっている。利用者目線に立った利便性向上を期待する。

2 市・個人所有の区別なく空き物件情報を一元化

事業や活動をする際に空き物件を探すのに苦労している。市・個人所有の区別なく、一時貸し出しも含め、空き物件情報を一元化できないか。

3 学校・保護者・地域とのコミュニケーションを緊密化

学校を取り巻く諸課題の解決には、学校・保護者・地域が一体となって取り組むことが必要。このためには、3者のコミュニケーションをより一層、緊密化することが重要ではないか。



防災・減災

1 避難場所の日頃の管理、運営はどのように行っているか

災害時の避難場所に指定されている一部の施設が普段から使用されていないため、電灯がつかない、トイレが使用できないなど不備がある。今後、場所の見直しやWiFi環境など情報インフラ整備を含め、再点検を行ってほしい。

2 原発事故が発生した場合の対応はどうするか

近隣の原子力発電所から50km圏内に一部入る市島地域・春日地域への訓練、情報発信、準備などの対応計画を示してほしい。

3 自治会LED防犯灯の維持管理の対応は

LED化などの耐用年数で更新が同時期になり、自治会の負担が増えると考えられる。負担軽減のため、LEDの新しい補助金を考えてほしい。

市政全般



1 丹波の魅力を発信

Iターンで丹波に移住して、丹波市民の優しさを知り、癒される。素晴らしい丹波の魅力をもっと知ってほしい。

2 大規模なソーラー施設の今後は

大規模なソーラー施設が撤去された場合、雑種地から山林へ戻す時の基準がいまいだ。国がやるべきである。

3 ごみ袋の半額化

ごみ袋料金が安くなり、ありがたい。安くなったことで不法投棄も減ったと思う。



議長から市長へ意見交換会での意見等一覧を提出しました(令和7年7月1日)

意見交換会でのご意見は市議会ホームページにてご覧いただけます。



意見交換会

地域づくり

議員の
視点



いえた ゆうき
家田 優樹

小・中学生の自治会 インターンシップの導入

丹波市でも実行したい事項である！鳥根県益田市では総合学習の時間で、地域に浸かり、未来を描くプログラムを実施している。



ひろた まゆみ
広田 まゆみ

小・中学生に自治会への 興味を持たせる

若者の参加者から、地域参加のきっかけづくりにインターンシップ制度の提案と、若者が主体で地域づくりを考えたいとの想いに感激。



おおがき としあき
大垣 利明

人口減少、若者が地域に 参加できるように

若者が地域に参加することはとても重要だが、逆に若者が参加したくなるイベントを地域と若者で作りあげる必要がある。



よしづみ つよし
吉積 毅

市内6地域の实情に 合わせた施策メニューを

地域課題については各自治協等が主体となって取り組まれているが、地域により選択できる施策提案も今後、必要と考える。



おくむら まさゆき
奥村 正行

自治会の役を複数兼任 する状態が起きている

高齢化や若い人が減少し、役のなり手不足を毎回多く聞く。市全域は同様の悩みがあり、複数の自治会で対応できないか検討すべき。



まえだ やすき
前田 安城

自治会委託している河川 草刈り単価の見直し

シルバー人材センター単価並びに事業者単価との差額が大きく、実費・人件費上昇を踏まえ、自治会単価を見直す時期にきている。

議会運営



おおた いっせい
太田 一誠

市民の意見内容は効果 的に届けているのか

意見交換の意味や効果を再考すべき。



すはら やよい
須原 弥生

市民との意見交換会の 参加人数が少ない

市民の皆様が参加したいと思える会へ、再考する時と感じている。

環境



たかはし まみ
高橋 まみ

ゴミ減量化を目指して できる取組

自然から出る草や雑木等を燃やすゴミにせず、個人で持ち込める集積場を各町に設置し、堆肥化して市民活用できる資源として再利用！

企業誘致



ひがしかわ のりお
東坂 範雄

大企業を誘致する施策 はあるのか

円安傾向と地政学的リスクの高まりを受け、企業に国内回帰の動きがある。この好機を捉え、より戦略的施策にて企業を誘致すべき。



あだち よしまさ
足立 嘉正

市の観光産業の考え方 はどうなっているのか

観光の基幹産業化を目指して施策展開しているが観光課のイニシアチブが弱い。しっかりと役割を認識し取り組むべき視点である。

防災



おがわ しゅうさく
小川 庄策

緊急時の避難所におけ る維持管理は

避難所は活用の有無により管理する体制が違うが、緊急時の避難所に変わりなく、常に避難できる状態での管理が必要である。



とくら ひろし
十倉 浩

避難ルートや避難所の 見直しが必要では

災害対策基本法の改正に基づき、特に避難に配慮が必要な方のための避難ルートや、一部の避難所の安全性の確認が急がれている。



さかい こうじ
酒井 浩二

市内の避難所にWiFi環 境が設置されているか

WiFiは災害時の行政からのニュース、気象のリアルタイム情報や家族安否確認など「情報インフラ」として極めて重要である。

意見交換会を終えて 議員の印象に残った意見

意見交換会では皆様からたくさんの声を伺うことができました。今回は、議員の印象に残った意見とその意見を選んだ理由についてご紹介します。

観光



おおしま けいこ
大嶋 恵子

都市との交流で団体で 食事する所が必要だ

丹波市に大型バスで来ても食事は近隣の市へと流れている。氷上町にあったやすら樹の再開を望む。

公共交通



にしもと よしひろ
西本 嘉宏

デマンドタクシーの 旧町域の制限解除を

一部地域は、医療センターや大型スーパーに直行できる。他は乗継ぎや徒歩となる。市内どこからも公平に利用できるようにすべき。

福祉



ほそみ あきふみ
細見 昭文

高齢者の話し合いや 食事に市の補助を

高齢者の心配はフレイルと認知症だ。有効なのは何人か集まって食事や話し合うことだ。そういうところに補助を出してほしいと思う。

ミライプロジェクトのあゆみ

全国から議会改革として注目されている丹波市議会
「ミライプロジェクト」のあゆみをご紹介します。

平成29年度 始まりまでの軌跡

平成29年11月に福知山公立大学の「まちかどキャンパス」模擬選挙&フューチャーセッションを視察したことがきっかけでした。若者の主権者教育として議会に関わる重要性を感じ、杉岡准教授に出会うきっかけとなりました。

平成30年2月に丹波篠山市議会との合同研修を開催し、杉岡准教授に講演いただきました。大学生・高校生・市議会議員の懇談会形式で、次年度に向けて検討が始まりました。

平成30年度 ミライプロジェクト始動～

いよいよ丹波市議会「ミライプロジェクト」が始まりました。

当初は市内3高校を順番に回る形で実施、大学生×高校生×市議会議員で「若者と考える みんなで考える 丹波市の未来」をグループワークで話し合い・発表する、1日だけの取組でした。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症が流行

新型コロナウイルス感染症の影響で中止。

令和3年度～4年度 オンラインを活用

ミライプロジェクトを継続するためオンライン形式での開催。

令和5年度 バージョンアップへチャレンジ

市内3高校が同時参加し、本会議場で発表してもらう抜本的改革を実施しました。

7月に「キックオフミーティング」でアイデアを出しあい、インターネットツールを活用して提案を磨き上げ、10月に本会議場で発表していただきました。提案された内容は所管の各常任委員会で検討し、高校生へ返答しました。

令和6年度 さらなる進化へ

市内3高校に加え、県立氷上特別支援学校高等部の生徒の皆さんにも参加していただき、5月に「キックオフミーティング」、6・7月には「第2ステージ」でオンライン会議、また現地視察や地域の方への聞き取りを実施したグループもありました。

8月には本会議場で政策提案をしていただきました。そして、高校生にはアンケート、大学生には感想、議員は報告書で振り返りを行いました。

このミライプロジェクトの取組が評価され、第19回マニフェスト大賞「議会改革部門」で最優秀賞を受賞しました。令和7年度はさらに進化させてまいります。

若者と考える みんなで考える 丹波市の未来
夢を語ろう 未来へつなごう 丹波市議会

ミライプロジェクト 2025



市内3高校・特別支援学校生×福知山公立大学生×議員

■ 目的

市議会議員として新たな視点や気づきを得るとともに、若者の意見や考えが反映される「丹波市づくり」につながることを目指しています。

■ 本年度もスタート

5月25日、春日住民センターにおいて6グループ総勢49名で第1ステージの「キックオフミーティング」が始まりました。

福知山公立大学地域経営学部 准教授杉岡秀紀先生による「若者と考える みんなで考える 丹波市の未来」と題したミニ講話の終了後、グループワークを開始。各班のテーマ発表は楽しみを感じさせるワクワクした内容でした。

グループワークでは、福知山公立大学生がファシリテーターとして活躍してもらい、昨年も参加していただいた学生の方からは「今年も楽しみに来ました」と嬉しい言葉をいただきました。

■ 新たなチャレンジ

令和7年度では、ミライプロジェクトをさらに進めるため、「オンラインツール」、「オンライン会議」や「フィールドワーク」、第2ステージとして政策提案調整のための会議を新たに設けました。

第3ステージは11月9日に本会議場で各班からの政策提案を発表予定です。例年どおり議員からの質問にも答えていただきます。

発表内容は「たんばりんぐ」1月号で掲載させていただきますので、皆さん楽しみにしてください。

ミライプロジェクトの1コマ

議員も多数参加のきっかけに

高校生たちが協力して何か1つのプロジェクトができれば楽しいのになあ

実は今、何かできないか相談してるんですよ



議員



高校生

「高校生が創る丹波の未来への架け橋プロジェクト」として実現。見事にギネス世界記録を達成！
(丹波栗を使ったモンブランを同時に食べる挑戦)

消防団車両の購入契約は妥当か

6月定例会
ココがギロンの
論点!

消防団各部に配置している消防車両は、20年経過を目途に計画的に更新しており、消防団員が安全に効果的に消防活動を行えるよう新規車両や動力ポンプを購入する契約の提案がありました。



総額
約1億
2,300万円

問 消防団ポンプ自動車（水槽付・なし）の車両総重量など規格相違とその選定基準は何か。また、普通自動車免許で従事できるか。

答 水槽なしの総重量は5トン未満ですが水槽付は900リットルの水を積載するため5トンを超えます。車両の幅・高さの違いはありますが機能面の大きな違いはありません。選定基準は平成20年の審議会答申「新時代に即した消防団組織について」を踏まえ、同規格で選定し更新を行っています。また、普通自動車免許では従事できないため、準中型免許取得補助制度を周知し、対応します。

問 納入期限が「令和9年3月12日」と先であるがその理由は何か。また、状況により契約金額が変わる場合があるか。

答 これまでの納入実績を踏まえ、消防車両の確保、加工、付属品の発注など多くの工程に時間を要するため、最大20ヶ月の納入期間をみています。また、基本的には契約金額の変更はありませんが、天災事変等不測の事件に基づく経済情勢の激変によって、契約金額が著しく不相当であると認められるときは、実情に応じ、双方協議の上、変更することはあります。

本庁舎・春日庁舎の建物調査、その目的は



本庁舎・春日庁舎の建物構造体の調査として委託料706万4千円が補正予算として計上されました。

問 本庁舎・春日庁舎の建物構造体の調査の目的は何か。地方自治法第4条に基づき、まず整理すべきでないか。調査前に、分庁舎か統合庁舎かという庁舎整備の方向性を決めることが大事ではないか。

答 施設を有効活用していくという視点に基づき、庁舎整備の方向性に影響がある本庁舎と春日庁舎が今後どれくらいの期間、建物が使用できるかを調査します。
あらゆる可能性を含め、庁舎整備の方向性を検討していくための基礎資料とするために、今回提案しました。

議員が伺います！あなたのもとへ！

井戸端スタイル
出張版

市民との意見交換会

丹波市の未来について話してみませんか？

5名以上でお集まりいただければ、議員がお伺いします。

あなたの声を聴かせてください。

- **対象者**
市内居住者・在勤在学の方またはふるさと住民登録をされている方。市内に本拠地がある団体。
- **申込み方法**
参加申込書に①～⑧の必要事項をご記入のうえ、丹波市議会事務局へご提出ください。
(郵送・FAX・メール・申込みフォーム・事務局窓口へ持参のいずれかでお申込みください)
- ① 代表者名
- ② 代表者住所・電話番号・メールアドレス
- ③ 団体名称（あれば）
- ④ 意見交換したい主な関心分野（テーマ）
- ⑤ 開催希望日時（90分以内。3月・6月・9月・12月の定例会以外の日程をご希望ください。）
※ 第2希望まで記載してください。
- ⑥ 開催希望場所
市内の公共施設等とします。会場費が発生する場合は申込者の負担となります。
- ⑦ 出席予定人数（5人以上）
- ⑧ 議会関係者の傍聴の可否
- **申込期限**
【10～11月開催希望の場合】8月31日 【1～2月開催希望の場合】11月30日
- **注意事項**
 - ・意見交換会の進行は原則、申込者でお願いします。希望があれば議員が対応します。
 - ・市政全般について意見交換し、政策立案に繋げることを目的としています。要望活動のみを目的とするもの、営利活動や宗教活動に類したもの等は受け付けません。
 - ・広報活動、記録のために録音、撮影をさせていただきます。
 - ・報道機関の取材がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。
 - ・出席する議員の指名はできませんのでご了承ください。



申込みフォーム



意見交換会

ココが聞きたい！一般質問

一般質問は、議員が自分なりの問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる重要な機会です。私たちの生活に関わることについて質問や提言を行いました。

ホームページに質問項目を掲載

質問項目は、事前にホームページに掲載。また、傍聴者には、質問要旨をお渡ししています。

制限時間は60分

一人あたりの制限時間は、市からの答弁も含め60分です。

テーマは自由

質問する内容は、議案とは関係なく議員が自由に決め、「通告書」に書いて締切日までに提出します。



一般質問の様子（ライブ中継・録画映像）は市議会ホームページからみることができます。

[検索ワード] 丹波市議会インターネット中継

今回は
16人の一般質問が
行われました！



**地方自治法第4条を
遵守し統合庁舎建設を
今ある庁舎がいつまで
もつかが前提になると
思います**



**年末年始の可燃ごみ
収集スキップ回数削減
市民の利便性と働き方
改革のバランスが必要
です**



**中学生を対象に、
ピロリ菌検査の実施を
は、国の動向等を注視
したいと考えています**



**加古川上流域の水害
対策は
河川管理者である県の
河川整備計画で整備済
み区間と聞いています**



**内水による浸水対策の
取組を強化すべきだ
重要性を認識し、庁内
会議で協議を進めてま
いります**



問 遠阪川・加古川・稲土川の今後の河川整備の対応は。
答 河川内の土砂撤去や雑木の処理は必要な事業で、地域要望は県に進達します。

問 こども食堂の考え方は。
答 こども食堂の運営団体に対する運営費の補助事業を予定しています。今後、実施団体と連携し、こどもだけでなく地域の方も参加できる運営を進めていきます。



現河川の状況

問 計画策定時(R3)以降の開発行為の影響により雨水貯留量が25mプール約8杯分減少している。その間、水路拡幅や家庭貯留計画、各戸雨水タンク設置補助の考えもないが、国の有利な起債活用で浸水対策を積極的に進めないか。
答 水路拡幅などの計画はありませんが、短期計画で既存施設を活用し、浸水被害軽減に取り組みます。家庭貯留の計画はありますが、学校の大規模改修や長寿命化工事のほか、庁内会議の中で関係課と協議してまいります。

問 自治会管理の防犯灯への補助制度の考えは。
答 平成25年度から平成27年度にLED化に向け、補助事業を行なっているが、LEDの耐用年数を約8年後に迎え、一斉に機器交換の可能性はある。その対応予定は、LED化により、電気代や球替えなどの維持管理経費が削減され、自治会の負担は以前に比べ軽減されていることから、その分を更新費用に充てたいと説明してまいりました。よって、更新補助制度を設けることは考えていません。

一般質問

問 地方自治法第4条に、事務所の位置について「住民の利用に最も便利であるように、交通の事情、他の官公署との関係等について適当な考慮を払わなければならない」とある。どう捉えているか。
答 市民の利便性を考えるのであれば、丹波市内どこであっても地域的なことは全然関係ないと思います。

問 防犯カメラ設置補助金補助金要綱で1団体につき1回限りとなっている。見直しすべきだ。
答 他市の状況も参考にしながら詳細な制度設計を進めます。

問 暫定例規の廃止は下水道受益者負担金の暫定例規見直しはどうか。
答 審議会委員の任期の令和8年8月までに答申をいただき、廃止を含め新たな制度を構築したいと考えています。

問 消防水利設置基準 防火水槽新設は既に最も便利であるように、交通の事情、他の官公署との関係等について適当な考慮を払わなければならない」とある。どう捉えているか。
答 住宅密集地、防火対象物が多い場合など、消火活動の円滑性を考慮して対応しています。用地については、公益性の観点から見直せません。

問 昨年度に続き、令和7年度も青垣・市島・春日・山南の年末年始可燃ごみ収集日が2回飛ぶ。市民生活に大きな影響を与えるので、せめてスキップを1回に減らせないか。家庭菜園ごみの取り扱いは。
答 ごみ収集については、委託業者を含め、働き方改革の観点から、年末年始にまとまった休日設定が必要ですが、一方、市民生活への影響もあることから、両者のバランスが必要だ。家庭菜園ごみの受け入れは、現場での混乱が懸念されることから、困難と考えています。

問 団体営で圃場整備した共用部分の権利関係？
答 旧町時代実施の団体営による圃場整備において、共用部分は地元団体が法人格を持ってなかったため、旧町(市)名義で登記した経緯がある。実質的所有者と名義人が異なるため、権利関係の整理が必要だ。

問 ピロリ菌は胃・十二指腸潰瘍の要因となり、感染が長引くと胃がんの発症リスクを高めるため、若年期に除菌治療を実施する取組が広がっている。丹波篠山市では平成26年から無料で検査を実施されている。丹波市でも実施できないか。
答 ピロリ菌検査は、国において現時点で死亡率減少効果を検討した研究はなく、市町村が実施する健診としては「推奨しない」とガイドラインに明記されており、実施は考えていません。

問 食品ロス削減に向けた啓発の強化を
答 市は「食べきり運動協力店」や「30・10運動」の推進をしているが、成果はあったのか。また、推進のために「食品ロス削減サポーター」の導入を考えたか。
答 「30・10運動」の推進と「食べきり運動協力店」制度を設け、食品ロス削減に取り組まされた。この制度は報告を求めているので、成果の把握はできていません。今後、関係団体と連携し、推進サポーターの育成を含めて食品ロス削減に向けた啓発活動ができれば検討します。

*一般質問の原稿は、質問した議員が各自作成しています。

*一般質問の原稿は、質問した議員が各自作成しています。



須原 弥生 議員

高齢者の肺炎予防で健康寿命の延伸を

肺炎の要因となる疾患を予防するため、周知、啓発に努めます



問 主に喫煙等で肺機能が低下する慢性閉塞性肺疾患（COPD）の死亡率は県数値を上回っている。予防の取組は。

答 喫煙による健康への悪影響を広く周知・啓発し、COPDの原因や早期発見の重要性、死亡率等を出前健康教室や保健指導で伝え、喫煙対策に取り組んでいきます。

答 感染症の動向や健康福祉事務所からの通知などを参考に、流行期にホームページなどで注意喚起を行っていきます。

問 RSVウイルス感染症の予防を図るため、ワクチン接種費の助成は考えられないか。

答 現在、国ではRSウイルスワクチンは任意接種として実施されており、定期接種化にかかる検討が行われているため、国の動向等を注視したいと考えており、現時点での助成は考えていません。

問 呼吸器感染症の原因ウイルスの一つで、基礎疾患がある高齢者の重症化も見られるRSウイルス感染症の周知と注意喚起を。



おしま けいこ 議員

漢方の里総合運動公園の整備について

令和8年4月からのオープンに向け整備を進めています



問 漢方の里総合運動公園は、地域に根ざした地域の宝である。薬草・児童公園等ゾーンの児童公園や池と水車小屋の整備が必要ではないか。

答 薬草・児童公園等ゾーンの整備については老朽化している遊具は撤去しました。野外トイレは改修して完了しています。新たな整備は予定していません。

問 公園に木材を使用した手作りベンチの増設ができないか。

答 木製ベンチの増設計画はございませんが、漢方の里総合運動公園オープン後の利用状況を見ながら検討していきます。



朽ちた水車小屋

問 市道設置看板の名称への変更について考えを伺いたい。

答 名称変更については、市内につきましては、市内に設置されている看板やその土地の所有者について調査を進めており、随時対応していく方向で検討しています。



おがわ しょうさく 議員

廃校施設の維持管理の考え方は

長期的な利活用が決まるまで、設備の不具合の修繕等はいりません



問 廃校施設は管理者のあるなしに関わらず避難所である。防災上、避難所は即使用できる維持管理の考え方が必要では。

答 廃校施設の管理業務と防災上の拠点・避難所の考え方は趣旨が違います。改めて現場に向かい、いざという時に使える避難所設備の維持管理を確認していきます。

問 母子家庭等の大学までの医療費負担軽減の検討はされたのか。他の支援も何でもやってみてはどうか。

答 福祉施策として、母子家庭等の医療費の負担軽減を検討する議論には至っていませんが現状です。丹波市の子育て支援策は他市町には引けを取らないと自負しています。今後は支援の方法をいろんな視点をもって検討していきます。

問 観光周遊の向上へ。観光周遊に向け、EV自動車充電設備の充実が必要では。

答 観光振興計画にも観光設備の充実の項目はありますが、EV充電器の記載はありません。EVユーザー



まえだ やすき 議員

丹波おばあちゃんの里の現状と今後について

重要な拠点施設になるよう、努めます



問 春日インターや一般道の渋滞に伴う情報発信などの対策はどうなっているか。

答 本年1月からNEXCOWestと協議を重ね、渋滞予測の事前発信、混雑状況を表示する電光掲示板の配置等、適宜情報を提供する方向で調整しています。丹波警察署とは「迂回路」の検討を行っています。

問 次期指定管理の選定方法の考え方は。

答 今の指定管理者の努力と実績は素晴らしいものと認識しています。評価委員会より、特例導入が適当との結果を受け、引き続き丹波ふるさと振興株式会社と市民への還元や民間ノウハウの活用を念頭に協議します。

春日地域小学校の今後について

問 統合検討委員会で、春日地域全体と船城地区のどちらを先行で考えるのか。

答 統合検討委員会の協議の進み方によりますが、船城地区の要望を念頭に置いた上で協議していきます。



いわた ゆうき 議員

若者移住促進のため、市営住宅の規制緩和を

条件緩和と新たな取組の検討を進めます



問 住生活基本計画に記載のお試し住宅の進捗は。

答 若者向けのお試し住宅の募集を実施し、入居の申し込みはありません。

問 単身者向けのお試し移住制度などの利活用に対する考えはどうか。

答 実現可能なものは検討します。

問 4月3日に全体研修、5月上旬にビジネスマナー研修。研修前に現場に出ている状況に対して、課題を感じているか。

答 日常業務の中で先輩上司の指導にて、力量の向上を行っています。現状の体制を変える予定はありません。

問 引継ぎについてPDCAを回す仕組みは設けているのか。

答 引き継ぐ項目は統一していますが、各所属の業務内容は千差万別であるため、引継ぎの仕組みは各部署の実情に応じたものとしています。



市営住宅



とくら ひろし 議員

公立小学校の給食配膳支援について

配膳ボランティアに来ていただくというアイデアも考えられます



問 負担軽減が可能な業務として、給食時間に配慮した支援が市として必要ではないか。

答 こどもたち自身が配膳することが基本と考えますが、学校個々の事情も考慮し、配膳ボランティアに来ていただくというアイデアも考えられます。

問 食べ残り（残食）を一定量削減するための具体的な取組はなされているのか。

答 機能保持が求められるインフラの整備・強化について完了したものの、整備中のものでありますが、今後も地域防災基盤の強化に努めていきます。

答 栄養教諭や学級担任から好き嫌いや栄養の大切さ等を学ぶ食育を通して、一人ひとりの児童生徒がしっかりと給食を食べるよう取り組んでいます。

問 「丹波市地域防災計画」においても、様々な整備・推進計画が策定されているが、具体的にはどのように計画が進んでいるか。

答 機能保持が求められるインフラの整備・強化について完了したものの、整備中のものでありますが、今後も地域防災基盤の強化に努めていきます。



公立小学校の給食風景



高橋 まみ 議員

学校給食の地場産率の向上に向けて

地場産率を上げることが非常に大きい効果があると考えています



問 給食の地場産率は向上したいと考えらるか。また食育の観点からはどうか。

答 目標数値を30%と設定している中で達成率を引き上げるために工夫を重ねていきたいと考えています。

問 農業施策について帰ってこいよと言える親元就農支援の拡充を

答 担い手を確保する施策を進める中で、効果や成果を検証しつつ、随時見直しを検討していきます。



中学校給食の一例

工事等の市内事業者への受注機会の拡大を

条例※に基づき、受注機会の確保に取り組んでいます



問 条例※は、「工事の発注、物品及び役務の調達等にあたって、受注機会の拡大に努める」と明記している。市内建設関係の請負が少なく、廃業する事業者もあると聞いているがどうか。

答 従来から本条例※を最優先に市内業者への受注機会の確保に取り組んでいます。登録事業者数は、3者の減少と併せて新規の登録者も一定数確認しております。

不登校について

問 ①不登校の現状と推移は。子どもの権利尊重と安心できる支援②民間「フリースクール」への公的助

答 成と連携③親への支援と安心感を増やす支援④不登校特例校(学びの多様化学校)の開設は。

※ 条例:中小企業・小規模企業振興基本条例。平成28年9月29日に議員提案で制定された。



足立 嘉正 議員

大阪・関西万博を契機とした誘客促進について

市内外の催事において丹波市の積極的なPRを行ってまいります



問 本年度、大阪・関西万博を契機に観光振興施策を展開されているが、市外での誘客促進事業の現況はどうか。

答 有収率向上に向けた積極的な取組を

問 上水道事業の有収率の低下が経営に与える現状と経営改善に向けた取組をどうしていくのか。

答 本市の有収率は、管路の老朽化により漏水の多発により年々低下しており、6期連続で赤字です。今後は給水人口の減少に伴う水需要の縮小を見据え、水道施設の統廃合やダウンサイジングを進め、施設の更新費用、維持管理費の削減を図るとともにA1を活用した先進技術の導入を検討し、有収率の向上をめざします。

問 7月未まで大阪市内各所においてタンパフェスを開催し、丹波市の魅力を発信しています。現時点で万博たんばコインの応募が約1,100件、周遊バス旅行の申請が18件。レンタカー等による周遊旅行促進事業補助金は17件の申請があったところ。引き続き、関係団体等へ周知することにより、さらなる市内周遊の促進を図ってまいります。

答 本市の有収率は、管路の老朽化により漏水の多発により年々低下しており、6期連続で赤字です。今後は給水人口の減少に伴う水需要の縮小を見据え、水道施設の統廃合やダウンサイジングを進め、施設の更新費用、維持管理費の削減を図るとともにA1を活用した先進技術の導入を検討し、有収率の向上をめざします。

中学校による地域展開と方向性

協議体発足後、定期的な会を開催し、協議、検討します



問 外部委託した際、クラブに参加する活動日及び活動時間は決まっているのか。

答 地域クラブ活動で用する道具類、消耗品や指導者報酬、運営費等にかかる費用が発生することが想定されます。それら全てを受益者に負担させることは、家庭への負担を増大させ、経済格差による体験格差を生み出しかねません。本市においても関係部署と十分に協議し、受益者負担と公費負担とのバランス等を慎重に検討する必要があります。

問 部活動が地域展開された際、地域クラブや保護者への公費負担は考えているのか。

答 地域クラブ活動で用する道具類、消耗品や指導者報酬、運営費等にかかる費用が発生することが想定されます。それら全てを受益者に負担させることは、家庭への負担を増大させ、経済格差による体験格差を生み出しかねません。本市においても関係部署と十分に協議し、受益者負担と公費負担とのバランス等を慎重に検討する必要があります。

※ 条例:中小企業・小規模企業振興基本条例。平成28年9月29日に議員提案で制定された。



細見 昭文 議員

高齢者補聴器助成の市民への周知は

市のホームページ、市の広報などで周知します



問 ホームページで3万円未満の補聴器があることや片耳が70dB以上で他耳が70dB未満の場合も助成対象になることを追記してはどうか。また、チラシを全戸に配布してはどうか。

答 11の事業所が算定可能な加算を取得する等、工夫されてサービスを提供いただいていると認識しています。訪問介護サービスとして、市はケアマネジャーを配置し、事業者の運営等を助言できる体制を常に確保しております。減収分の補てんは、今のところ考えていません。

問 追記について、多くの申請に繋がるよう検討します。チラシの全戸配布は考えていませんが、身近な支援者に説明し、周知をお願いしていきます。

問 訪問介護について 政府が訪問介護の報酬を2%ほど引き下げたが、訪問介護事業所の現状と支援についての市の考えは。また、市で減収分を補てんできないか。

答 福祉人材の確保という観点で、改めて講師派遣を検討します。

問 訪問介護について 政府が訪問介護の報酬を2%ほど引き下げたが、訪問介護事業所の現状と支援についての市の考えは。また、市で減収分を補てんできないか。

答 福祉人材の確保という観点で、改めて講師派遣を検討します。

問 訪問介護について 政府が訪問介護の報酬を2%ほど引き下げたが、訪問介護事業所の現状と支援についての市の考えは。また、市で減収分を補てんできないか。

子どもの豊かな学びと育ちを保障するための令和8年度政府予算に係る意見書 (賛成多数で可決)

学校現場ではいじめ、不登校、教職員の長時間労働や未配置など多岐にわたる課題が山積しています。自治体の財政状態にかかわらず、全国どこに住む子どもでも一定水準の教育を受けられることを憲法上の要請として、令和8年度政府予算編成において実現されるよう強く求めます。

請願者…兵教組水上教職員組合
請願者に参考人として委員会にご出席いただき、願意をお伺いしました。審査の結果、国に対して意見書を提出しました。



意見書全文



全員賛成で可決・承認・採択した議案

6月定例会

議案	議案
補正予算 ○ 介護保険特別会計保険事業勘定(第1号) ○ 看護専門学校特別会計(第1号)	契約締結 ○ 竹山小学校屋内運動場他改修及びエレベーター設置工事 ○ 消防団ポンプ自動車(水槽付)購入 ○ 小型動力ポンプ普通積載車等購入 ○ 消防団ポンプ自動車購入
条例改正 ○ 福祉医療費助成条例 ○ 特別職に属する非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例 ○ 市税条例	
承認 ○ 一般会計補正予算(第1号)の専決処分の承認 ○ 市税条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分の承認 ○ 地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分の承認 ○ 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分の承認	契約変更 ○ 市島複合施設(仮称)建築工事(建築) ○ 市島複合施設(仮称)建築工事(電気設備)
	その他 ○ 旧慣による市有財産の使用権の廃止(横田自治会)



本会議での起立採決の様子

賛否が分かれた議案と審議結果

議案	結果	賛成	反対	須原 弥生	十倉 浩	太田 一誠	大垣 利明	高橋 まみ	前田 安城	小川 庄策	奥村 正行	細見 昭文	西本 嘉宏	酒井 浩二	吉積 毅	足立 嘉正	家田 優樹	広田 まゆみ	東坂 範雄	大嶋 恵子	谷水 雄一	
予補算正 一般会計(第2号)	原案可決	14	3	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
請願 子どものゆたかな学びと育ちを保障するための2026年度政府予算に係る意見書採択の請願	採択	14	3	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
意見書 子どもの豊かな学びと育ちを保障するための令和8年度政府予算に係る意見書	原案可決	14	3	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

※ ○は賛成、●は反対、■は賛成・反対討論を行った議員。

※ 議長は議事進行を行うため、特別多数議決を除き原則として採決には加わりません。

賛否同数の場合のみ議長は裁決を行います。

審議結果はこちら

意見書はこちら

政務活動費

1人あたり月額1万5千円。みんな何に使っているのかな？



期間：令和7年1月～令和7年3月 (単位：円)

会派名	人数	交付上限額	支出合計	未使用額
日本共産党議員団	2	90,000	77,820	12,180
西本 嘉宏 細見 昭文	広報費(会派広報誌印刷代・折込料) 77,820			
公明党	2	90,000	32,785	57,215
十倉 浩 須原 弥生	調査研究・研修費 32,785 ■ 縁結び課の取組について(1/29 兵庫県三木市) ■ 防災に関する取組について(1/29 兵庫県三木市) ■ 兵庫県立広域防災センターの取組及び設立の経緯について施設見学(1/29 兵庫県立広域防災センター) ■ 人口減少時代の効果的な質問について ・子育て支援、不登校支援 ・人口減少時代における人件費の考え方(1/31 オンライン研修)			
無所属の会	2	90,000	3,280	86,720
小川 庄策 奥村 正行	事業費他(コピー代) 3,280			
丹・まごころ	3	135,000	44,430	90,570
前田 安城 大垣 利明 高橋 まみ	事業費他(コピー代・書籍代) 29,430 調査研究・研修費 15,000 ■ 地方議会特別セミナー「議員の資質向上と議会運営の基本について」(2/13 丹波篠山市) ■ 議会運営の基本セミナー「3月議案をすっきり読み解こう」(2/25 氷上住民センター)			
丹新会	7	315,000	33,528	281,472
吉積 毅 足立 嘉正 家田 優樹 大嶋 恵子 酒井 浩二 東坂 範雄 広田 まゆみ	調査研究・研修費 33,528 ■ 地方議会特別セミナー「議員の資質向上と議会運営の基本について」(2/13 丹波篠山市) ■ 議会運営の基本セミナー「3月議案をすっきり読み解こう」(2/25 氷上住民センター) ■ ますだひとまち集会 2025「地域と学校で作る」(3/1～3/2 島根県益田市)			
無会派	1	45,000	1,393	43,607
太田 一誠	調査研究・研修費 1,393 ■ 縁結び課の取組について(1/29 兵庫県三木市) ■ 防災に関する取組について(1/29 兵庫県三木市) ■ 兵庫県立広域防災センターの取組及び設立の経緯について施設見学(1/29 兵庫県立広域防災センター)			
無会派	1	45,000	2,445	42,555
谷水 雄一	調査研究・研修費 2,445 ■ 縁結び課の取組について(1/29 兵庫県三木市) ■ 防災に関する取組について(1/29 兵庫県三木市) ■ 兵庫県立広域防災センターの取組及び設立の経緯について施設見学(1/29 兵庫県立広域防災センター)			

「政務活動費」2つのポイント

1 議員一人あたり月額1万5千円

2 後払い精算方式

※ 未使用額は、次年度へは繰越されません。

知ってる!?

ギカイクイズ

高校生のアイデアでスタートした「知ってる!? ギカイクイズ」。今回で16回目です。議員や市議会のことを知る良い機会ですので、ぜひ皆さんで考えてみてください♪

【問題】

丹波市議会の議員 18 人の中で女性は何人でしょうか？

- ① 9人
- ② 15人
- ③ 4人



※ 答えは 17 ページの一番下

FM 805 たんば

「議員さん こんにちは!」で「たんばりんぐ」情報発信中!

議会をもっと身近に

放送日

7月29日(火)
午後8時30分～
※ 再放送は
8月3日(日)
午前10時30分～



まちを好きになるアプリ



いつでもどこでもたんばりんぐ

マチイロは、全国 800 を超える自治体で導入されているスマートフォン用アプリです。広報たんばやたんばりんぐをスマートフォンで見ることができます。



※ 「マチイロ」の利用料は無料 (通信費は利用者負担)



(注) アプリの運営会社が掲載する広告が表示される場合がありますが、内容に関しては一切責任を負いません。

たんばりんぐをスマホへお届け

教えて! 議会ワード

No. 16

せいがん ちんじょう 請願と陳情ってなに?

どちらも市政などに関する意見や要望を議会に提出する制度です。



「請願」は議員の紹介が必要ですが、「陳情」は紹介が不要です。

【請願】

- ・ 議会で審議され、採択された場合は、その結果が関係機関に送付され、実現に向けて働きかけが行われます。
- ・ 法的根拠：地方自治法に基づいた制度

【陳情】

- ・ 議会で審議されることもありますが、「請願」ほど厳格な手続きはとられない場合があります。
- ・ 法的根拠：「請願」ほど明確な法的根拠はありません。

9 月定例会の日程

日	月	火	水	木	金	土
8/31	1	2	3	4	5	6
	本会議 議案提案 9:30~		本会議 一般質問 (個人) 9:00~	本会議 一般質問 (個人) 9:00~	本会議 一般質問 (個人) 9:00~	
7	8	9	10	11	12	13
	本会議 議案質疑 委員会付託 9:30~		総務文教 常任委員会 9:30~	民生産建 常任委員会 9:30~	予算決算 常任委員会 9:30~	
14	15	16	17	18	19	20
		常任委員会 予備日	予算決算 常任委員会 9:30~	予算決算 常任委員会 9:30~	予算決算 常任委員会 9:30~	
21	22	23	24	25	26	27
	予算決算 常任委員会 9:30~		予算決算 常任委員会 予備日	予算決算 常任委員会 9:30~	予算決算 常任委員会 9:30~	
28	29	30	10/1	2	3	4
		本会議 議案採決 9:30~				

* 上記の日程は変更になる場合があります。最新の情報はホームページなどでご確認ください。



丹波市の明日がみえてくる! 傍聴してみませんか?

1 市役所3階で受付をして資料を受け取る



事務局窓口でお声かけください。

2 傍聴者入口から入る



傍聴者入口の立札が目印 (車いす用のリフトもあります)

3 傍聴席に座り傍聴する



少し高くなった傍聴席からは、議場全体が見渡せます。

☑ 児童・乳幼児 同伴の方の傍聴ができます

※ 議長の許可が必要となります。

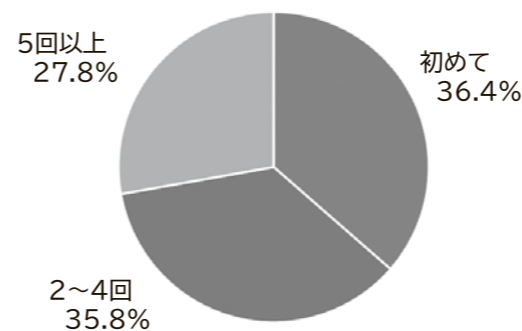
本会議場がある本庁舎3階の議会事務局窓口でお声かけください。

☑ 手話通訳者を配置します

手話通訳を希望される方は傍聴を希望する日の7日前までに、議会事務局までお申し出ください。なお、希望を受けてから手話通訳者の手配を行うため、ご希望に添えない場合もございますので予めご了承ください。

傍聴者アンケートの結果 (令和6年1月~令和6年12月) 回答数 162件

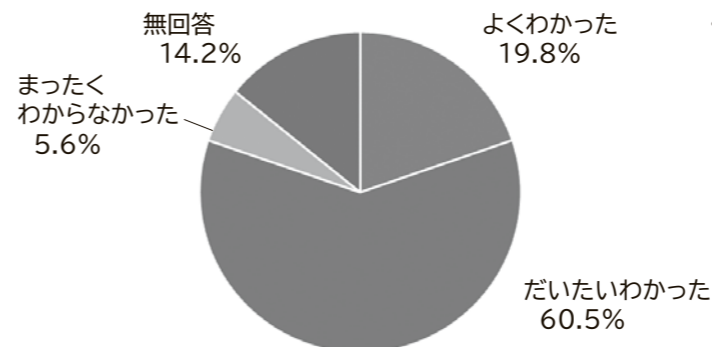
Q 傍聴の回数



Q 傍聴して気づいたことや市議会全般について

- ・ 住民が議会審議に関心を持ち、傍聴などに参加することは必要だと思っています。
- ・ 議員さんが真摯に向き合っている様子を間近に見て、子どもに負を残さない話を聞き、色々考えさせられました。
- ・ 傍聴は大切な事だなぁと改めて思いました。もっと多くの方が聞かれたら、市当局、議員さんの様子も変わってくる。市民のための議員・市長・市議会であってほしいと思います。
- ・ 議会は市民の声の代表ではないのか。もっと市民の要望を聞く努力をしてほしい。個人のスタンドプレーの場ではない。

Q 議員の発言内容



県立“年輪の里”に市として活性化に関わってほしい

ミルネに婦人科外来を設置し、女性が安心して受診できるようにしてほしい

空き家活用の芸術村で展示・制作・図書交流をしたい

みんなの意見を たんばりんぐに

子どもの安全確保のため通学路の一方通行化とガードレールを設置してほしい

今回は
農業者の声
を募集します！



下記の方法で意見の投稿を受け付けています。

1. フォームで回答
2. FAX
3. 郵送



①～④の事項をご記入ください。

- ① 氏名
- ② 年代
- ③ 連絡先電話番号 または メールアドレス
- ④ 市や議会に対する思い・意見

※ 投稿内容を正確に把握するため、問い合わせをさせていただく場合があります。

※ 投稿内容は議会だよりに掲載されることがあります。掲載にあたり、編集を行う場合がありますのでご了承ください。

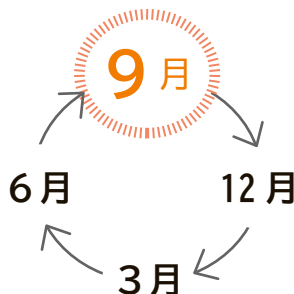
【FAX番号】0795-82-1523

【郵送先】〒669-3692

丹波市氷上町成松字甲賀1番地 丹波市議会事務局 宛

発行：兵庫県丹波市議会
 編集：広報広聴委員会
 〒669-3692 兵庫県丹波市
 氷上町成松字甲賀1番地
 TEL 0795-82-1472
 FAX 0795-82-1523
 E-mail: gikai@city.tamba.lg.jp

「発行責任者」
 議長 谷水 雄一
 委員長 家田 優樹
 副委員長 高橋 まみ
 委員 十倉 浩
 委員 酒井 浩二
 委員 吉積 毅
 委員 東坂 範雄
 委員 大嶋 恵子



次は9月定例会！
前年度の予算執行を審査する「決算議会」です。議員が市民目線で議論します。ぜひご注目ください。